

第5回「映画のまち調布賞」決定。作品賞の大森監督は調布在住

撮影、録音、照明など制作現場の作り手に贈られる第5回「映画のまち調布賞」の授賞式が2月11日(土・祝)にイオンシネマシアタス調布で開催された。各部門の関係者が表彰され、調布についての想いを語った。作品賞は日本映画人気投票1万6142票の中で1位となったキッズアニメの「映画 すみっこぐらし 青い月夜のまほうのコ」。大森貴弘監督は調布に住んで6年、「調布のすみっこたち(子供たち)が大勢投票してくれたことが嬉しい。CGの制作会社も調布にあります。市内には深大寺など映画の撮影で使いたい場所はいっぱいありますね」と授賞式後に話した。「護られなかった者たちへ」で撮影賞を受賞した鍋島淳裕氏は八王子にある中央大学出身。「学生時代は映画研究会で調布に住んでいました。卒業後は助手として日活撮影所や角川大映スタジオで仕事を覚えました。調布ゆかりの賞を頂いて感激しています」と語る。「そして、バトンは渡された」で録音賞の白取貢氏は「私も日活撮影所と角川大映育ち。調布で録音技術を学びましたので、この賞は嬉しい」と言う。

特別賞は市内にある撮影用照明会社の(株)アーク・システム取締役会長の武藤光成氏。「照明に携わって40~50年になります。30年ほど前から野川の夜桜ライトアップを自主的に行っています。コロナ禍で3年間中止していましたが、今年は再開したい」と語ると、会場から拍手が起きた。最後に実行委員会の佐伯知紀委員長が「調布は映画産業の従事者が日本で一番多い町」と述べた。市民が作品を選び、その中から各部門のプロが優れた技術者を選ぶユニークな映画祭。来年もいろいろな話題を提供してほしい。(大泉 清)

調布国際音楽祭は6月25日に開幕。BCJ公開リサイタルに500人の観客

映画祭の次は音楽祭。調布の文化イベントを代表する調布国際音楽祭2023の記者会見が2月14日(火)に開かれ、今年スケジュールが発表になった。期間は6月25日(日)から7月2日(日)まで。これに先立ち、音楽会の主役となるバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)の第40回公開リハーサルが、2月23日(木・祝)グリーンホールであり、外国のソプラノ歌手も参加したりハーサルで約500人の観客が本番さながらのバッハの演奏を楽しんだ。

入間町のNTT東日本で食用コオロギ飼育の実証実験が始まっている

AI(人工知能)技術を活かし、将来の食料危機に備えるためにコオロギ飼育の実証実験が市内入間町のNTT東日本で始まっている。「5万匹のコオロギを30度に保った室内で、ケージの中で飼育しています。コオロギは冷凍保存して鳴門市のベンチャー企業に送り、ここで粉末にしてクッキーや煎餅に混ぜて商品化。商品として市内のコンビニで販売されています」と担当者は話す。

【FC 東京応援記】 (日比生)

2023シーズンが浦和レッズを迎え、ホームの味の素スタジアムで開幕した。收容人数の制限無し、声出しも全エリアでOK(マスク着用にて)となり、38,000人を超えるファン・サポーターが集まった。相手は日本一を自称するサポーター。試合前から応援歌がスタジアムに響き渡る。こちら負けじと、You'll Never Walk Alone を歌い、選手を向かい入れた。花火の特殊効果、青赤のバルーンが空に舞い、スタジアムの雰囲気は最高潮だ! マスク制限等まだ少し不自由な状況はある。しかしそれは With コロナの時代の日常と今はとらえ、何よりも楽しむ事だ。空は高く輝いている。

ちょびット

調布社協 インフォメーション

No.19

第9回調布まち活フェスタが開催されます。
3月12日(日)午前10時~午後3時まで、国領駅前広場と市民プラザあくろすを利用して、開催されます。今回のテーマは、「今、ここで実現しよう。」4年ぶりの会場開催となり、実行委員、出展団体一同張り切っています。多彩な市民活動がありますので、展示、体験、ステージなどお楽しみください。子どもたちの大好きなプラレールや鉄道模型、ミニプラネタリウムもあります。



2023年3月 番組表



< 調布市民放送局の番組を見ることができます >

◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！

調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送



テレビ番組	月	火	水	木	金	土	日
	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25
	1日	15日	16日	31日			

①映画のまち調布 シネマフェスティバル2023(前編)
シネマフェスティバル開催中の2月11日「第5回映画のまち調布賞」の授賞式が行われました。続いて映画「シャイロックの子供たち」のトークイベントが行われました。その様子をお送りします。

②リトルギャラリー:南部菱刺しの会グループ展『伝統が息づく小物達』
「南部菱刺し」は青森県南部地方の農村で継承されている刺し子の技法のひとつ。「南部菱刺しの会」の会員が作成した長財布を展示しました。美しい菱模様の数々をお楽しみください。

①映画のまち調布シネマフェスティバル2023～文化会館たづくり編～(後編)
「CINE_WORKS 展」では、映画制作で使われた大道具、小道具、衣装などが展示。「映画資料展」では映画のポスターや出演者のサイン。ワークショップでは、本番の撮影にチャレンジ！緊張と熱気に包まれていました。

②『第8回ぬくもりツアー』:深大寺 ～外国人&帰国子女対象～
調布の魅力を海外に！イギリス、フランス、中国などから来日している20名が参加。深大寺周辺の散策、ランチは深大寺そばに舌鼓。陶芸工房では絵付けにチャレンジ！ツアーを満喫しました。

ラジオ	「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)		
	調布 FM:83.8MHz HP からは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！		
	月	放送日	内容

3月

6日(放送)
13日(再放送)

ゲスト:谷茂樹さん
(オペラ歌手・指導者)

今年40周年を迎える調布市音楽連盟の演奏指導をしてくれる桐朋学園大学の名誉教授でありオペラ歌手の谷茂樹さんにお話を伺いました。

インタビュー:柴田紀恵子




月	放送日	内容	ご紹介
	20日(放送) 27日(再放送)	宮本苑生の詩の世界 八木幹夫さんの詩の朗読	八木幹夫詩集『野菜畑のソクラテス』他から抜粋してお届けします。朗読:あきのめぐみ

HP 新型コロナウイルスの影響で、家で過ごされている方、この機会に地域の情報を見ませんか！インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。👉 調布市民放送局で検索


<http://chofu-catch.or.jp/> (公式HP)
(すべての番組2015年～現在まで)

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)
(すべての番組2004年4月～2015年3月)

<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局) (2015年～)

【公式HP】 【アーカイブサイト】 【フェイスブック支局】



ATMでの電話に注意
お金や還付金の話は詐欺だ

首都圏の1都3県ではオレオレ詐欺に次いで還付金詐欺が多い。調布警察署(電話042-488-0110)では「特に年金支給日の後が狙われる。ATMに呼び出して、電話で操作方法を誘導して、金を振り込ませるのが犯人の狙い。ATMでの電話にはくれぐれも注意してほしい」と、呼び掛けている。

春の火災予防週間始まる。
ストーブによる住宅火災に注意

3月1日(水)から春の火災予防週間が始まる(7日まで)。東京消防庁では、電気ストーブによる住宅火災で死者が多いと警告。調布消防署管内では2月20日までに6件の住宅火災が発生している。同消防署(電話042-486-0119)は「ストーブの周りには燃えやすい物は絶対に置かないように」と、注意喚起。

